

「フラテ」原稿

2014 年

教室の方では何人か人が入れ代わり、教室の空気も少しずつ変わってきているように思います。新しい人たちが新しい風を吹かせてくれています。

人が代わっても、二生理の伝統は、脈々と変わらずに受け継がれているように思います。変わるごとと変わらないこと、どちらも大切にしていきたいと思います。それでは、今年も例年通り、研究室の皆さんのコメントを順番に紹介していきます。

田中 真樹（教授）

早いものでもう 2014 年を振り返る時期となりました。今年の方野内の出来事を思いつくままに並べてみます。①松嶋特任助教が東大医学部神経生化学分野（尾藤研究室）に異動となりました。現在は脳研究のための新しい分子ツールの開発に取り組んでいますが、近い将来、これをサルなどに適用することで高次脳機能研究に新風を吹き込んでくれるものと期待しています。②國松助教の留学が決まりました。来春から 2 年間、米国 NIH（彦坂研究室）で修業することになりました。会心の一打を期待しています。③教育学院 D3 の竹谷君が今春からサルの実験に携わるようになりました。来春から当分野の博士研究員になる予定です。④ MD-PhD コースの鈴木君と理学部生物学科の亀田君がそれぞれ博士課程、修士課程に進学することになりました。現在、鈴木君は国試勉強、亀田君はザリガニを使った卒業研究で忙しいようです。⑤医学部 4 年の伊藤君がつくば大で開催された第 8 回 Motor Control 研究会で若手奨励賞を受賞しました。39 名中 5 名の高倍率で大学院生でも受賞は難しく、学部生での同賞の受賞は初めてとなります。技術補助員の森さん、弘中さんの手厚いサポートのおかげです。⑥吉田院生は今春から新さっぽろの北辰病院（旧社会保険総合病院）の放射線科に勤務することになりました。投稿中の論文が採択され次第、学位申請する予定で頑張っています。来春には大学に戻り、サルを用いた MRI 研究ができるものと期待しています。⑦研究の方では、今年開始する予

定だった分子ツールを使ったプロジェクトが滞っており、来年はなんとか前進させたいと考えています。

この他、MD-PhD コースの植松院生、松山院生は短期修了に向けて実験に励んでいます。クルキン助教は視覚刺激提示用のプログラムの開発を進めています。技術補助員の森さんは3年目、弘中さんは2年目となり、ますます研究を進めるのに欠かせない人材となってきました。事務担当の鈴木さんにも分野内の多くの活動にいつも大変細やかなサポートをしていただいています。学部生が中心となって進めている英文教科書の輪読会を仕切ってきた医学部6年の新田君も来春から阪大に行くことになり、世代交代の時期となりました。

私自身はとくに変わりないですが、乱視のために眼鏡を買って約一年、いよいよ眼鏡なしでは見えなくなってきました。私生活ではたまに息子と釣りに行って息抜きしています。今秋は知床まで遠出したのにカラフトマスに出会えず、来年はもっとしっかり情報収集しようと思います。ついにウエーダーも買いました。早く春にならんかな～

國松 淳（助教）

昨年と今年はいくつかの海外のラボで研究発表をさせてもらう機会を頂きました。とても聞き苦しい英語だったにもかかわらず、一生懸命聞いていただけて有益なコメントもいただきました。研究への興味を通じていろいろな国の方とコミュニケーションができるのも研究者ならではの楽しみだなと実感。どんどんデータを取ってまた発表したいのですが、そんなにうまくいかないのも実情です。あと英会話に関してもなかなかうまくいきません。学生の頃からもっと勉強おけばよかったと後悔している大人がここにいますので、これを読んでもる若者にはいまからしっかりやる事をお勧めしますヨ。

山野辺 貴信（助教）

ヘルムホルツは生理学で顕著な業績を残した人として知られていますが、それ以外でも大きな学問的貢献をいくつもしています。これまで長い間に渡って細分化され

て来た科学がヘルムホルツのような人達によって統合される方向に進むかも知れないと考える今日この頃です。

クルキン・セルゲイ（助教）

I am from Russia, my home city is Rostov-on-Don. After I earned my PhD degree in biophysics from the USSR Academy of Science, I worked on the computer model development for the Soviet space programs in A.B.Kogan Institute for Neurocybernetics.

Since 1995 I joined the Hokkaido University Graduate School of Medicine. I applied my skills in computer modeling and simulation to study the neural mechanisms of eye movement control. I developed the programs for 3D virtual targets presentation, data acquisition and analysis.

My teaching duties include the lectures in Physiology and Basic Medical Biology. Also I am responsible for EEG practice for 2nd grade medical students.

In younger age I played football, but after knee injury I chose more quiet activity as a golf and cross-country skiing.

吉田 篤司（博士課程、休学中）

行動課題中の慢性動物の単一神経活動の記録、薬理的局所活性化／不活化を行い、大脳基底核の機序の解明を行っています。また、小脳変性症患者さんを対象とした脳画像解析を行っています。学位取得に向けて日々精進しています。

竹谷 隆司（教育学院、博士3年）

私たちの感覚器には絶えず大量の情報が入力されますが、意識に上るのはその中のほんの一部です。私は時間予測の役割に着目し、情報がいつ入力されるかが予測できる時、どのように処理されるかを解き明かそうとしています。休日はラー

メンのスープにおける豚骨の役割に着目し、昆布や魚介、あるいは鶏がらなど基本的な出汁との相性を主な対象としながらも、鶏白湯スープなどと組み合わせた場合の味の膨らみについても探索的に検討しています。

植松 明子（博士 2 年、MD-PhD コース）

時間予測と小脳について調べています。北海道は野菜が美味しいところです。冬になると、雪道対応の自転車に心動かされています。そういえば最近みかけたやけに大きなタイヤの自転車は何用なのでしょうか。気になる所です。

松山 圭（博士 2 年、MD-PhD コース）

今年は 1 月なかばから 7 月にかけてずっと体調が悪い時期が続き、他の方にご迷惑をお掛けしました。8 月くらいから体調が良くなってきたので、遅れていた分を取り返したいと思います。そんな中、11 月にアメリカの学会でポスター発表できたのはよい経験になりました。

MD-PhD の短縮要件は厳しい戦いになっていますが、大局を見誤らずに正しい選択を積み重ねていきたいと思います。あと、最近また体力づくりを始めています。誰か一緒に運動しませんか？

鈴木 智貴（医学部 6 年、MD-PhD コース）

「尊敬する人はだれですか」

訊かれたら、「あいつだ」と答えます。

冬の冷たい雨。仲間たちはみなどこかへ避難したようです。彼は一人、管理棟の屋上で雨に打たれていました。水たまりをからだ全体で転げ回り、真っ黒な羽を濡らします。飛び上がり、アンテナの上で全身を少し震わせたかと思うと、また転がりだすのです。

よろしく願います。

新田 統昭（医学部 6 年）

2 度目の学生生活も 4 年を超え、ようやく医学部最終学年を迎えました。2 年前に、田中先生や院生の皆様のご協力を得て神経生理学の教科書輪読会を立ち上げましたが、おかげさまで私の卒業後も続いていきそうな気配なので、安心して「脱北」出来そうです。伊藤君よろしく。卒後は出身地の大阪に戻る予定です。来年度は、国試に無事合格していたら阪大病院か近隣の関連病院に、落ちていたら実家で浪人生活を送っているはずですので、大阪近辺に御用の際は気軽にお声掛けください。

伊東 健史（医学部 4 年）

年明けに田中先生からいただいたテーマに対し、暗中模索のなか格闘し続ける日々です。学部学生との両立は辛いことも多いですが、毎日夕方に研究を進める中で、実験の面白さを再認識し、改めてラボの一員になれたような気持ちです。夏の学会で若手奨励賞をいただくことができました。「まぐれあたり」と言われたいよう精進します。

新田さんから半分引き継ぐ形で、月曜昼の輪読会を運営しています。参加者の皆さんの熱意のおかげでほとんど仕事をせずに済んでいます。より一層の盛り上がるため、読者の皆さん、特に後輩の参加を心からお待ちしています。怖くないですよ！

鈴木 真理（技術及び事務補助員）

年々、1 年経つのが早く感じられるようになり日々を大切にしたいと思う今日この頃。

今年の目標は、俳句（1 日 1 句）とテニスに挑戦することです。

ひとひらの 落葉彩り 初雪路

3日坊主にならないように・・・

森 智子（技術補助員）

今年はメンバーの入れ替わりもあり、講座の古株になりつつありますが、周りの方々に支えられながら新しい業務と格闘している毎日です。

皆様に感謝。

弘中 愛（技術補助員）

二生理で勤務させて頂いて2年目に入りました。今年からよりスキルが必要なお仕事を任せて頂くことになり、また一つ新しい世界の扉を開けたような新鮮な気持ちで一杯です。日々精進してスキルアップし、期待以上の仕事ができるよう頑張ります。新しい世界と言えば今年は、フルマラソンを初完走、スキューバダイビングを初体験し、初トレイルランニングで手稲山縦走と非日常的な空間を楽しむことが出来ました。これも、二生理の先生方や職員の方、院生さんや学部生さんの御協力のおかげです、大変感謝しております。来年はトレイルランニングの最高峰、スカイランニングに挑戦するため、サルのトレーニング同様、自分のトレーニングも頑張っております。

以上、教室のみなさまからのコメントでした。来年も元気よく研究していきましょう。

今年は NIH の彦坂先生が札幌にいらっしゃったときに、御講演していただく機会に恵まれました。月曜日の輪読会は色々な学部学生の方が参加してくれています。興味のある方はぜひ一度お越しください。水曜日の抄読会には他の研究室の先生や、臨床医の先生、熱心な学部学生の方も見えています。こちら興味のある方はご連絡ください。

それでは、みなさまにとって良い年となりますように。 （文責：松山）